

さぽせんニューズレター

2010 年冬号 Vol.25 <http://sapocen.net/> ☞昨年 7 月より変更しました。



※「サドベリーの理念は子供たちを尊重すること」と語る木村聡さんと由紀さん※

◆NPO応援講座 I～IV	2
◆天ぷらバスで行くエコツアー	2
◆ボランティア塾in鶴嶺高校	3
◆茅ヶ崎維新カフェ	3
◆さぽせんワイワイまつり/チラシコンテスト/ぱりあふりーカフェ同窓会3/げんき基金募集	4

「自分を生きる学校・湘南サドベリースクール」茅ヶ崎に開校

11 月 28 日、湘南サドベリースクール設立者の木村聡さん・由紀さんご夫妻をお迎えして、第 2 回茅ヶ崎維新カフェを開催しました。同校は、「自由」と「自治」を特徴としたアメリカのサドベリーバレー・スクールの教育理念と実践をモデルにして 2008 年 4 月、茅ヶ崎に開校されました。

カリキュラムも時間割もテストもない自由のなかで学び、困ったときなどには、子どもたちも一緒に話し合ってルールづくりにも参加する。刺激しあって集中力、学習力、コミュニケーション力を発揮する。そんな教育の実践に参加者は驚きをもって聞き入りました。また、4 名ごとのグループワークでは自己紹介に始まり教育論までを語り合い、静かだった会場が次第に賑やかさを増し「2 時間では短かった、もっと話したかった」など余韻を残して終了しました。

「自分の子どもたちに、問題解決のスキルや心の平安を持つ人になって欲しい」との願いから開校に踏み切られた木村由紀さんのご著書「日本で、サドベリー～教育もステキに選びたい～」が 1 月末に自費出版されます。なお、茅ヶ崎維新カフェについて詳しいことは 3 ページ目をご覧ください。



09NPO応援講座



■NPO応援講座Ⅰ

知って得！ 保険いろいろ
9月6日（日）参加者 50名



ボランティア活動から協働事業まで、安心して活動するための第一歩が保険の知識。

4種類の保険の補償内容の違いなどが「保険クイズ」を交えて紹介され、参加者からは

ボランティアや市民活動の定義、協働など人件費の発生する活動について活発な質問が出されました。

- ① 市民活動等災害補償制度（保険料は全額市が負担）
- ② 神奈川県ボランティア事故共済（見舞金あり）
- ③ ボランティア活動保険（社会福祉協議会に登録）
- ④ NPO活動総合保険（団体契約で有償活動も補償）

■NPO応援講座Ⅱ

NPOはわかりセミナー「NPO法人化」
10月9日（金）参加者 36名



かながわ県民活動サポートセンターと共催で開催したこのセミナーは、市外を含めてこれから法人化を考えている方の参加が多く見られました。講師の早坂毅さん

（横浜市立大学・関東学院大学講師・税理士）が強調されたのは、何をしたいか、自分たちのミッションは何かをまず考えること。法人化のメリット・デメリット、収益が生じた場合の税務、法人化の手続きや意義など具体的な質問にもお答えいただきました。最後に国内外で活躍するNPOの紹介DVDを観ながら、ミッション実現への思いを改めて考える機会にもなりました。

■NPO応援講座Ⅲ

「NPOのための税務・会計相談」
10月23日（金）参加者 35名



NPOの信頼性を高め健全な運営ができるように「税務・会計」の相談会を開催しました。税理士・行政書士の細野由美子さんを講師にお迎えして、NPO法人が所轄庁に提出を

定められている計算書類・貸借対照表・財産目録・収支計画書の作成方法と、法人税・県民税・市民税、源泉所得税の税務申告について、具体的な会計処理（仕訳）と課税・非課税の事業区分等についてわかりやすく解説していただきました。参加者からの質問にも答える形で進められ2時間があっという間でした。

■NPO応援講座Ⅳ

行列のできる講座「今どき作れる手書きチラシ」
12月5日（土）参加者 70名



昨年、好評を得たNPO法人男女共同参画おた理事長牟田静香さんの「行列のできる講座」の2回目として「手書きのチラシづくり」を、ひらつか市民活動センターにて開催しま

した。20代から70代まで幅広い世代の参加者が数人ずつグループになって、「人が集まらなかったチラシ」を、人が集まる企画に変えて、人が手にするチラシに作りかえるアイデアを出し合いました。完成させたチラシは茅ヶ崎市民活動サポートセンターに掲示してあります。実物をぜひご覧ください。

この2事業は、ひらつか市民活動センター・にのみや町民活動サポートセンターとの共催として初の試みでした。2市1町の市民活動団体やセンター間の交流ができました。

■天ぶらバス（BDF）で行くエコツアー 8月24日（月）参加者 49名

ちがさき自然エネルギーネットワーク（REN）と茅ヶ崎市による市民提案型協働推進事業との共催で行ないました。



市内のエコ現場を天ぶら油燃料の大型バスで回りました。夏休み中とあって小・中学生を含めた家族連れの利用者もあり楽しみながらエコを感じることができました。

- ▶見学施設先 ①サポートセンター②J-Powerの風力発電・色素増感太陽電池（光を吸収し電子を放出）実験・100年コンクリート耐久試験施設 ③香川小学校の風力発電「そよ風くん」
- ④菟園ケアセンターのルーバー式ソーラーパネル ⑤第一中学校の太陽光発電表示版⑥湘南工科大学の自然エネルギー活用（熱・水素電池実験・屋上の100kw太陽光パネル・インバーターの蓄電池など）※BDFとは、B=Bio D=Diesel F=Fuel バイオディーゼル燃料のことです。



■市民活動を

高校生が知る、学ぶ「ボランティア塾in鶴嶺高校」

11月10日(火)・17日(火)

鶴嶺高校1年生の総合的な学習の時間に、市民活動団体が講師となって、日頃の活動や思いなどを伝える授業「ボランティア塾」が行われました。

初めての試みで期待と不安を抱きながら、授業の30分前には各団体が続々と到着し、体験やプレゼンテーションの機材などが運び込まれ、工夫を凝らした授業が展開されました。

一年生320名の一人ひとりの意思を尊重して、希望により授業を決めてもらったため、受講生徒数は一授業2名から83名までと差がありました。

小さな実践であっても、地域の課題解決や身近なまちづくりに取り組んでいる熱い思いの大人に高校生が出会い、生き生きとした行動エネルギーに触れる今回のような授業が、今後も継続的にプログラム化されることを期待したいと思います。

★高校生からみた「ボランティア」のイメージから

社会貢献、人の役に立つこと、一人ひとりの思いやり、いいこと人とのコミュニケーション、楽しみあう心、共有する心、大変そう自主的に積極的なもの、お金のないおしごと、ただ働き など

★参加団体の感想から

高校生は静かでクールな印象だったがこちらのメッセージをしっかり受けとめてもらえた、長い話を聞いてもらうのは難しい など



▶10日参加団体 12 団体

*湘南市民メディアネットワーク・三翠会・ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)・茅ヶ崎里山公園倶楽部・*車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」・茅ヶ崎郷土会・子育て支援ボランティアグループ・きらきらぼし・筆記通訳サークル「虹」・*湘南ふくしネットワークオンブズマン・茅ヶ崎市国際交流協会・*WE21 ジャパンちがさき・神奈川県立茅ヶ崎養護学校

▶17日参加団体 11 団体

*湘南市民メディアネットワーク・三翠会・ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)・*セカンドブックアーチ・茅ヶ崎地区平塚地区自閉症児・者親の会・茅ヶ崎手話サークル松の会・茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団・*車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」・「山田耕作」と「赤とんぼ」を愛する会・あすなる会・神奈川県立茅ヶ崎養護学校 (*はNPO法人です)

茅ヶ崎維新カフェ

■第3回維新カフェ 世界とつながる食のワークショップ「コーヒー村の未来物語」

2月20日(土) 13:00~15:00 茅ヶ崎市民活動サポートセンター 参加費 300円(学割あり)

企画協力：文教大学開発教育サークルFAIR

持ち物は、「ほんのちょっとの好奇心」。コーヒー栽培の生産者になる疑似体験のなかから見えてくる「フェアトレード」について考えてみます。フェアトレードのコーヒーを飲みながらの懇親会もお楽しみに！



■報告 第1回茅ヶ崎維新カフェ「NPOで起業する」 7月26日(日) 参加者27名

不要になった本を回収しその販売収益を福祉団体などに寄付しているNPO法人セカンドブックアーチ理事長の山本高大さんをゲストに、法人立ち上げの経緯から将来の展望まで気力溢れるお話をお伺いし交流しました。

就職活動中の人・仕事に就いているけれど納得できない人など様々な思いの参加がありました。



「今の時代にはない信念と覚悟、情熱と決意をもった人」、「誰も通らなかつた道を自分たちの力で切り開こうとする発想力・行動力を持った人」に会ってお話する交流会を茅ヶ崎維新カフェと名づけて、市民活動カフェの一つとして開催しています。20代から30代のゲストと一緒に飲みながらの楽しいカタリバです。

みんな サポセンにあつまれ!



さぼせんワイワイまつり ～咲いて咲かせて市民のチカラ～

11団体の実行委員のみなさんが「さぼせんワイワイまつり推進チーム」を結成。市民活動の楽しさを多くの人に知ってもらおうと、アイデアを持ち寄り“まつり”の準備がすすめられています。活動資金を応援する模擬店・フリーマーケット、体験・相談コーナー、おたのしみ抽選会・スタンプラリーなど盛りだくさんです。たくさんのご来場をお待ちしています。手話通訳や筆記通訳もあります。

3月13日(土)
10:00~16:00
雨天決行
会場: 茅ヶ崎市民活動
サポートセンター

市民活動の想いが伝わる「チラシコンテスト」

さぼせんワイワイまつりプレ企画

■2月1日(月)～5日(金) 茅ヶ崎市役所ロビー ■3月6日(土)～7日(日) ジャスコ茅ヶ崎店エントランス
「伝える力」を高め、団体の活動がもっと広がるきっかけになることを願って、オリジナリティあふれるチラシを各会場で展示します。

来場者の投票で「チラシ大賞」を決定し、さぼせんワイワイまつりにて表彰します。発表を、お楽しみに!

ぱりあふりーカフェ同窓会3

12月20日(日) 参加者 49名



市民活動
カフェ20
司会は茅ヶ崎市聴覚者協会
会長の倉金勲さん(写真右)。
茅ヶ崎手話サークル松の会の方々
のご協力、和やかに、テンポ良く進
められました。11月13日、若松町
にオープンした「夢ある街のたいや
き屋さん」での仕事ぶりを寺田青児
さんがスライドで紹介し、参加者が

順に日々の思いを語り、休日の市役所1階 cafe. COM は幸せな空気に包まれました。軽食タイムの後は片山どんぐりさんプロデュースによるお楽しみ会。たくさんの楽器で素敵な音色を奏で、参加者が次々とミュージシャンに変身。フィナーレは鈴がたくさんついた長いリボンをみんなで振って会場はひとつになりました。

♡♡湊 里香さん(写真左・中央)のメッセージから♡♡

聴覚障害者は、お互いのコミュニケーションを図るためには手話通訳者が必要です。このぱりあふりーカフェでは手話通訳者がいたからいろんな角度から来る情報が入って楽しかったです。サブテーマの通り、”街の中で普通に暮らす 障害があっても楽しくつながり働きたい”に近づけていけたらと願っています

市民活動を応援する平成22年度「市民活動げんき基金」に応募しようか…?

迷った時は、サポートセンター(TEL0467-88-7546)にご相談ください!

助成額の上限 ■スタート支援10万 ■ステップアップ支援60万円

募集期間 1月18日(月)～2月15日(月)

「今の活動をもっと広げたい、活動を始めたばかりで企画書や収支予算書の書き方がわからない、プレゼンテーションが大変そう」など、お困りごとのお手伝いをします。過去の助成事業の資料もご覧いただけます。

